

水巻オランダ イルミネーション MIZUMAKI×HOLLAND

MIZUMAKITOWN

HOLLAND

ILLUMINATION

JR 水巻駅北口・南口

2025.12.1 (Mon) ~ 2026.2.14 (Sat)

オランダのノールドオーストポルダー市にある「ポルダータワー」

CONCEPT

水巻町とオランダの交流の歴史を次代につなぐ『光』

オランダをテーマとした

あたたかなアカリ

水巻×オランダ中学生異文化交流が2019年に終了していることもあり、今では水巻町とオランダとの親交の歴史を知る機会が希薄となっています。そのため、改めて町民の方々にオランダ交流の文化をイルミネーションといった親しみやすい形で紹介することで、水巻町の友好の輪が国外にも開いているという気付きをもっていただき、これまでと違った町の新たな魅力を感じていただける事業として、オランダ伝統の雰囲気やイルミネーションのコンセプトとしました。

オランダではセント・ニコラスの命日である12月6日と、イエス・キリストの誕生日の12月25日の2回お祝いをする伝統があります。

～風化しつつあったひとつの歴史～

高台にある図書館の入口から、町を眺めると印象的なタワーが目に入ります。そのかたちは、実はオランダのノールドオーストポルダー市にあるタワーを模したものです。

そして、その裏手の坂道をのぼると、丘の上に佇む、白い「十字架の塔」があります。第二次世界大戦中に日本各地で亡くなった多くのオランダ人捕虜の慰霊の塔であり、決して忘れてはならない戦争の歴史を今も伝える平和の象徴、そして友情の証です。

元オランダ兵捕虜のドルフ・ウィングラーさんが戦後初めて水巻町を訪れたのは昭和60年の夏のこと。つらい記憶ながらも、戦後40年が経ち、当時、親切にしてくれた一人の日本人にお礼をいうための来日でした。その折、忘れ去られ、荒れ果てた十字架の塔の存在を知ります。(略)

～住みよき水巻の物語 より～



水巻町イルミネーション実行委員会

イルミネーション事業アンケートにご協力ください